

レディース通信 4月号

(H28.3.25発行)

寒い冬が過ぎ去りお花見の季節を迎えました、皆様いかがお過ごしでしょうか。春は桜や菜の花、チューリップなどの色鮮やかな花が咲き誇ります。香りを楽しみながら散歩をするのも良いですね。

がんの10年生存率について

今年1月19日に国立がん研究センターは、全国の16施設で10年後に患者が生存している割合を示しました。対象は1999～2002年にがんの診療を始めた約3万5千症例で分析されました。

以下に、婦人科がんの5年生存率と10年生存率を表にまとめました。

(※単位は%、国立がん研究センターによる)

	病期1	病期2	病期3	病期4	5年生存率	10年生存率
乳房	93.5	85.5	53.8	15.6	88.7	80.4
子宮頸	91.3	63.7	50	16.5	78	73.6
子宮体	94.4	84.2	55.6	14.4	83.8	83.8
卵巣	84.6	63.2	25.2	19.5	59.2	51.7
全体	86.3	69.6	39.2	12.2	63.1	58.2

(全体：他14部位の生存率を合わせたもの)

がんの治療の目安とされる5年生存率は63.1%で10年生存率と大きく変わりません。しかし、乳がんは5年後以降も生存率の低下が目立ちます。子宮頸がんと卵巣がんに関しても、5ポイント以上減少しています。

このことから5年後以降も検診できちんとフォローする必要があることが示される結果となりました。また、全てのがんは早期に発見し、治療を始めるほど良好な結果が得られることも確認できました。岡山市や倉敷市では乳がん検診と子宮頸がん(体がん)検診を受けることができます。毎年6月から実施しているので、ぜひご利用ください。

詳しい内容や、他部位の生存率に関しては全国がん(成人病)センター協議会のホームページに掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

(平成28年1月20日発行の山陽新聞より抜粋)

医療費の変更について

平成28年4月1日、診療報酬(医療費)が改定されます。それに伴い、窓口負担額が変わる場合があります。ご不明な点は受付にお問い合わせ下さい。

特定不妊治療費の制度改正

平成28年度4月1日から、初回申請に限り助成額を15万円から30万円に拡充します。(ただし治療ステージによって異なります。)

詳しくは各市町村のホームページか、管轄する保健所へお問い合わせください。

お知らせ

2月13日から5週間のカウンセリング件数は、予約のカウンセリングが4件、診察に来られた際に必要に応じておこなった随時のカウンセリングが11件でした。